

学生団体Free!!!!

興味・関心を原動力に私たちの身の周りを“ちょっと”よくする



宇都宮大学 学生団体Free!!!!

目次

- 01 学生団体Free!!!!とは
- 02 生理用品常設プロジェクト
- 03 性教育の勉強会

01

学生団体 Free!!!!とは



- 学生団体Free!!!!とは

Mission

興味・関心を原動力に
私たちの身の周りを「ちょっと」よくする

団体名称 : 学生団体Free!!!!

設 立 : 2021年12月10日



団体ロゴ



団体公式キャラクター
”レフリー”

拠 点 : 宇都宮大学

団体人数 : 25名 (2024年10月現在)

1年生・・・11名

2年生・・・ 5名

3年生・・・ 4名

4年生・・・ 5名

- 学生団体Free!!!!とは

地域と連携しながら複数のプロジェクトでチームごとに年間を通して活動しています。

・生理用品常設プロジェクト

...宇都宮大学内のトイレに生理用ナプキンの常設

・性教育の勉強会

...正しい性の知識を身につけるため、
助産師の講師の方を迎えての勉強会の企画・運営

・なかのじょうプロジェクト

...群馬県中之条町での林業体験プログラムの企画・運営

・高齢者スマホ教室

...高齢者の方に向けたスマホ教室の企画・運営

・新体力テストプロジェクト

...地域の健康促進のため、新体力テストの企画・運営

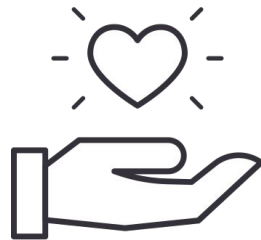
02 生理用品 常設プロジェクト



2. 生理用品常設プロジェクトについて

【目的】

- ① 学生の安心安全な学校生活の確保
- ② 宇都宮大学内のトイレに生理用品ナプキンを常設すること
- ③ 性別を問わず、生理について考えてもらうきっかけづくり



2. 生理用品常設プロジェクトについて

【背景】

コロナ禍の取り組み

女性応援つながりサポート
つなサポ相談室♡

宇都宮市つながりサポート

女性支援事業の実施

事業の一環で生理用ナプキンが済生会さんより宇都宮大学へ提供され、学内の使用頻度の高い女子トイレ・多目的トイレにナプキンが配置されました。

生理用品設置の終了



生理用品の設置が昨年度で終了予定

コロナ禍の困窮が発端に起こった取り組みであったため、生理用品の提供は昨年度で終了し、在庫がなくなり次第、設置も終了という形になっています。

安心感の提供へ



利用者からは継続希望の声が！

利用者からのアンケートでは、この取組が終了後も、継続を希望する声が寄せられ、学生の安心感に繋がっているといえます。

この取り組みを継続的に行っていけるよう、本プロジェクトを企画しました！

2. 生理用品常設プロジェクトについて

今年度の活動

① 11号館1階、8号館2階の女子トイレに生理用品を設置

現在、宇都宮大学陽東キャンパス11号館1階、8号館2階の女子トイレの個室6箇所には生理用品を設置しています。

個室トイレの扉の裏側には、ポスターを掲示しており、協賛してくださった企業様を紹介しています。

やばっ
生理きちゃった、どうしよう...!

生理による悩み・不安を少しでも減らしたい！みんなの安心安全な学校生活をサポートしたい！という思いから地域企業へお声がけし協賛いただきました。私たちの取り組みでみなさんの身の回りが“ちょっと”よくなるとうれしいです。
なお、必要とする人全員に行き渡るような必要な分だけの利用にご協力ください。

協賛企業の詳細はこちら！
各企業の概要や協賛への想いについてはQRコードからご確認ください。

協賛企業のみなさん~(五十音順)
・株式会社 アカデミック・ロード
・弁護士法人 宇都宮東法律事務所
・株式会社 サクシード
・有限会社 存じやす
・株式会社 広葉
・株式会社 ノニロジカーゴ

他の場所でも設置しています！
陽東キャンパス
・8号館 2階 女子トイレ
・11号館 1階 女子トイレ
陽キャンパスへの設置も進行中!!

私たちが企画しました！
学生団体Free!!!が、協力企業の募集から生理用品の個室設置まで取り組んでいます。
地域デザインセンター・ユース生理用品常設プロジェクト
企画：宇都宮大学 学生団体Free!!!
協力：地域デザインセンター
宇都宮大学O&S推進センター

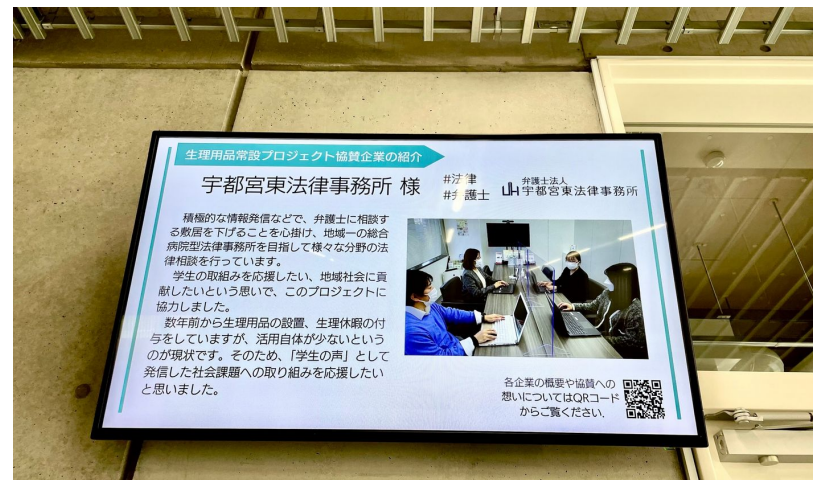
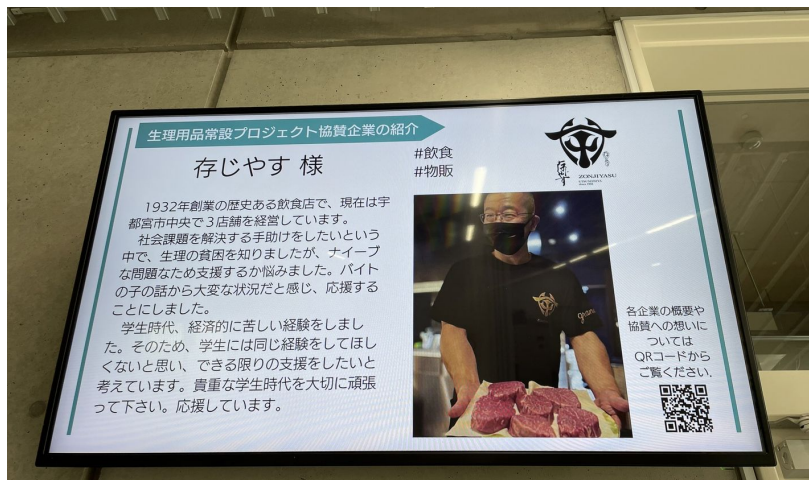


2. 生理用品常設プロジェクトについて

今年度の活動

② 協賛企業を地域デザインセンターのHP・デジタルサイネージにて紹介

【目的】 女性のみならず、宇都宮大学生・地域の方にこのプロジェクトを知ってもらうこと
現在は、地域デザインセンターのHPと宇都宮大学陽東キャンパス11号館1階のデジタルサイネージで紹介しています。



2. 生理用品常設プロジェクトについて

現在の使用状況

月 \ 補充回数・ 使用個数	補充回数	使用個数 (2か所)
4月	9回	235個
5月	19回	268個
6月	15回	210個
7月	19回	297個

補充回数→基本、平日1日1回

※4月は試行期間のため、週2回程度で実施しました
8,9月は、夏季休業期間のため、
設置を行っておりません

使用個数→平均253個/月

2. 生理用品常設プロジェクトについて

【独自】生理用品の使用状況アンケート調査を実施

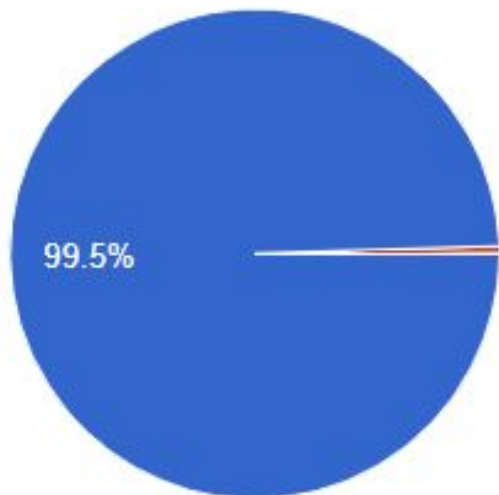
対象者：宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科 1～3年生 計202名

実施期間：2024年7月5日（金）、10日（水）

2. 生理用品常設プロジェクトについて

独自のアンケート調査結果から

- 問1.
- 生理用品の大学設置について、賛成するか、反対するか



- 1. 賛成する
- 2. 反対する

200名以上の学生が

大学に生理用品を設置することに **賛成**

2. 生理用品常設プロジェクトについて

独自のアンケート調査結果から

問2.

宇都宮大学内でのジェンダーに関する取り組みの中で知っているものはあるか



さまざまな場面で、ジェンダーに関する取り組みを認知している

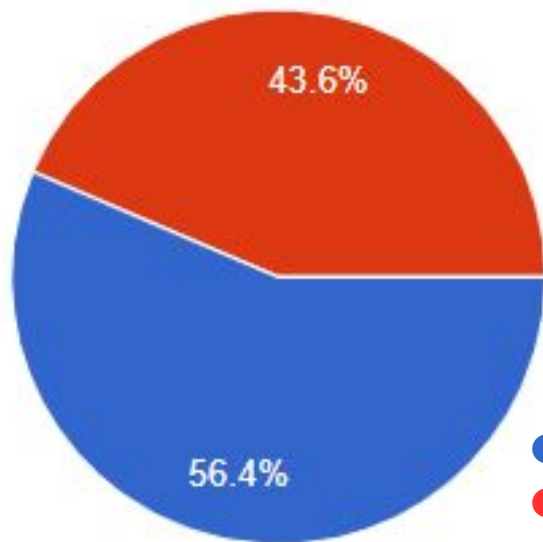
→宇大生は、**ジェンダーに対する意識が高い**

→取り組みの仕方によってはさらにジェンダーに対して興味を持ってくれる人が増える

2. 生理用品常設プロジェクトについて

独自のアンケート調査結果から

- 問3.
陽東キャンパスの8,11号館に生理用品が設置してあることを知っているか。



100名以上の学生が

大学に生理用品が設置してあることを知っている

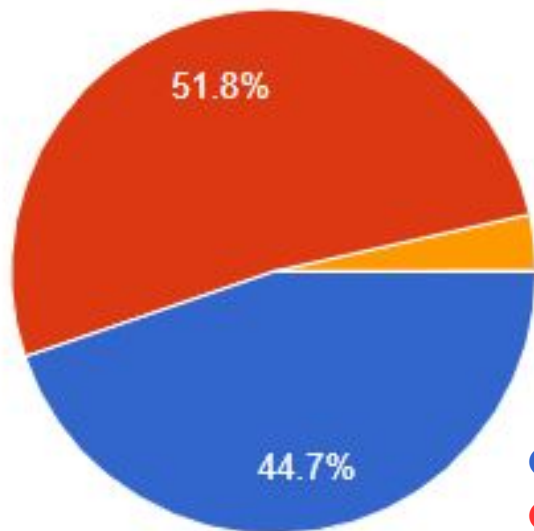
- 1. 知っている
- 2. 知らない

2. 生理用品常設プロジェクトについて

独自のアンケート調査結果から

問4.

大学に設置してある生理用品を使ったことはあるか。



50名以上の学生が

生理用品を使ったことがあると回答

→徐々に普及していて、需要があることがわかる

- 1. 使ったことがある
- 2. 使ったことがない

2. 生理用品常設プロジェクトについて —独自のアンケート調査結果から

問5.生理用品が設置してあることをどこで知ったか。

使ったことがあると回答した人



トイレの設置で生理用品の設置を知る人が**8割以上**

→生理用品を配布するより実物を設置することで、

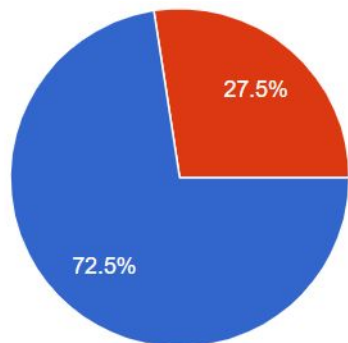
学生は使いやすい

→生理用品の設置は、**学生の安心安全を担保することに寄与する**

2. 生理用品常設プロジェクトについて ー独自のアンケート調査結果から

問7.

今後も使用したいか。



● 1. 大変そう思う

● 2. そう思う

問8.

利用者からの要望

1. 設置箇所の拡大

2. 設置個数の増大



今後も使用したいという意見が100%

→設置箇所の拡大を求める声が9割を超える

→設置箇所を拡大した後の需要も大きい

2. 生理用品常設プロジェクトについて

現在の資金について

寄付金総額

385,000 円

内訳

①生理用品プロジェクト発足前寄付額：350,000円

②生理用品プロジェクト発足 寄付額：35,000円

今年度

残金 338,371 円

内訳

ボックス購入費：1,683円

生理用品購入：44,946円

計 46,629円

陽東キャンパス拡大

残金 199,323 円

内訳

ボックス購入費：4,210円

生理用品購入：134,838円

計 139048円

全学

残金 -29,617 円

内訳

ボックス購入費：8,420円

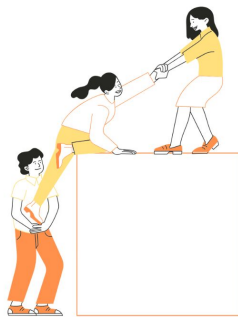
生理用品購入：359,568円

計 367,988円

3. 今後の展望

↓ 現在 ↓

STEP
1



陽東キャンパス

11号館、8号館にて設置
宇都宮大学DE&I推進センター
と協同で設置中

STEP
2



陽東キャンパスに設置

11号館、8号館以外の
場所にも拡大

STEP
3



全学に設置
峰キャンパスにも
設置場所を拡大

3. 今後の展望

全学化後の流れ

学生団体Free!!!!として、下記3つの活動を行う予定

① 生理用品の補充



設置場所の全ての
補充の管理を行う

② 在庫管理



生理用品が継続的に
おけるように、定期的に在
庫のチェックを行う

③ 定期的な アンケート調査



利用者の声を元に、
設置場所の拡大や生理用品の
種類などの検討を行う

4. 設置後の効果

学内

- ・学生の安心安全の確保に繋がる
- ・男女関係なく、生理に対する意識・関心の向上・きっかけづくり

学外

トイレの環境が整備されていることで...

- ・高校生に「安心して通える大学」という認識を持ってもらうことに繋がる
- ・地域の方に、積極的に活動していることのアピールになる

03 性教育の勉強会



2. 性教育の勉強会プロジェクトについて

【目的】

1 正しい性の知識の普及

日頃の生活での不安感の軽減や自分の身を守る正しい知識を身につける。

2 男女の相互理解の促進

すべての人がそれぞれの性にかかわらず、互いに思いやりを持つことができる社会を目指す。

2. 性教育の勉強会プロジェクトについて

今年度の活動

① 学内で性に関連する講座の企画・運営

今年度は計3回にわたって、テーマが異なる講座を開催します。

講座には助産師として活躍されている方を講師として呼びし、科学的に正しい情報の提供に努めています。

【今年度の開催日程】

第1回：06月19日 テーマ：「推し活×生理」

第2回：10月28日 テーマ：「男性向け生理講座」

第3回：12月13日 テーマ：「歯止め規定を超えた性教育」

※推し活...好きなアイドルやキャラクターの応援をすること。若い世代で注目を集める。

※歯止め規定...学習内容の取扱を制限する学習指導要領の規定。性教育では性交を取り扱わないことになっている。

2. 性教育の勉強会プロジェクトについて

今年度の活動

①-1 学内で性に関連する講座の企画・運営

第1回：06月19日 テーマ：「押し活×生理」

「押しと目を合わせる準備しよう？ 全力で押し事を楽しむためのお悩み相談会」と題して、イベントを開催した。イベントでは、参加者の生理に関する悩みに対して講師が回答したほか、参加者間でいくつかのテーマについて話し合いをし、情報交換を行った。



押し活×生理 押しと目を合わせる準備しよう？

全力で！ 押し事を楽しむためのお悩み相談会

生理が気になって押しを見逃したらもったいない！生理のお悩みを解消して押し活をもっと楽しませんか？助産師などとして数々の相談に携わってきた講師があなたの悩み・疑問を解消してくれます！

日時 06月19日 水 18:00~20:00

場所 南東キャンパス 11号館 ワークショップ2

講師 柚木 理恵 ゆずきりえ
「三川町で『ゆずき助産院』を病院、助産師・助産師名健福館士として幅広い世代の相談に20年以上上乗る。『性のタブーをハッピーに変えたい』という思いで、包括的性教育にも力を入れる。現在は、南宮市での無料性教育講座の開催や、宇都宮市の全中学生の性教育を担当している。

開場 6月17日(月)まで
定員 10名
お申し込みはこちら！

学生団体 Free!!!
@freediversity2021
free5eventy2021@gmail.com

主催 学生団体 Free!!! 協力 情報デザインセンター 講師 柚木理恵

図1. 参加者募集のポスター



図2. 講師も交じり話し合いを行う様子



図3. 講師からの回答と解説の様子

2. 性教育の勉強会プロジェクトについて

今年度の活動

①-1 学内で性に関連する講座の企画・運営

第1回：06月19日 テーマ：「推し活×生理」

参加者からは、

- ・ 生理と向き合ってこなかったで、しっかりと向き合えて良かった。
- ・ 学校では学ぶことのできない内容で、とても充実した時間だった。
- ・ 普段改まって話さないことを話せて、悩みを共有できた。
- ・ 生理について、もっとオープンに話せるような世の中になれば良いと思う。
- ・ 自分が楽になる方法を見つけていきたいと思った。

といった肯定的な意見を得られた。

講師からの情報提供や話し合いによって、新たな学びを得ることができ、
悩みの解決につなげることができた。



図4. アイスブレイクをする参加者

2. 性教育の勉強会プロジェクトについて

今年度の活動

①-2 学内で性に関連する講座の企画・運営

第2回：10月28日 テーマ：「男性向け生理講座」

「転生先が美少女でも戸惑わない！ 男性のための生理教室 チュートリアル編」と題して、イベントを開催する予定。講師以外は男性のみで行うことを想定している。イベント内では、講師による基本的な生理についての情報提供からはじまり、排卵日予想、生理用品の吸水実験などのアクティブラーニングまで行う予定である。



図5. 参加者募集のポスター



図6. 排卵日予想の様子(別イベントで撮影)



図7. 吸水実験の様子(別イベントで撮影)

2. 性教育の勉強会プロジェクトについて

今年度の活動

①-3 学内で性に関連する講座の企画・運営

第1回：12月13日 テーマ：「歯止め規定を超えた性教育」

「教科書から飛び出そう！ 知っておきたい！学校では習わない性のはなし」として、講義形式とアクティブラーニングを交えたイベントを開催する予定。性交を取り扱わないことになっている文科省の学習指導要領を超えて、性交に関連する正しい知識を提供することを目的としている。性的同意について考えを深める講座・グループワークやコンドームの装着実験、性感染症が広がっていく様子を体験するミニゲームなどを行う予定である。

男女合わせて10名程度の参加を目標に11月上旬ごろからの募集開始を目標としている。

コンドームの装着実験

ペニスの模型に実際のコンドームを装着する。コンドームは装着の仕方により、避妊率が大きく異なる。

性感染症ゲーム

水を入れたコップを参加者に配り、中身を交換してもらう。1人のコップには重曹水が入っており、交換後に薬品を入れると水が赤く染まっていく。水の交換は性交を意味する。

最後までご覧いただきありがとうございました！

学生団体Free!!!!は、「興味・関心を原動力に身の周りを”ちょっと”よくする」ために、これからも男女共同参画推進の取り組みをはじめ、さまざまな活動を行っていきます。

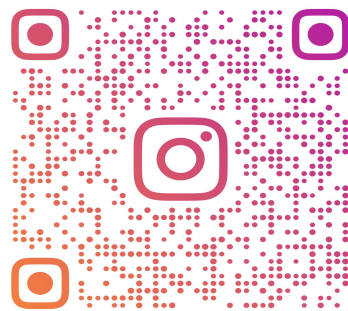
今後とも皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

学生団体Free!!!!の具体的な取り組みは、

Instagramからご覧いただけます。

フォローお待ちしております！

Instagramのアカウントはこちら →



FREEDIVERSITY2021

